

暑かった夏も終わり、秋の訪れを感じられる季節になった北海道ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は、息子と一緒に山上湖へカヤックフィッシングに行ってきました。現地は山の中ということもあり、気温20度と涼しい気候。但し水温が高いのが不安要素でしたが、一年ぶりの訪問ということもあって期待が膨らみました。

釣りの準備をしている間、息子はいつもお会いする常連アングラーにキャスト指導してもらい、釣る気満々の様子。虫嫌いな息子のために用意したオニヤンマの模型を、帽子につけていつものポイントへ。この日は天気が良かったため、いつもより釣り人が多く、反応が渋め。手を替え品を替えトライする時間も刻々と過ぎ、釣れないままタイムリミット…。

今回はお目当てのニジマス釣ることができませんでしたが、何気ない会話の中でも息子の成長を感じることができ、良い休日を過ごすことができました。

札幌営業所(所長:清水 壮次郎)

もともと城や寺社仏閣などの歴史的建造物が好きなのですが、一度は見てみたかった岩手県の平泉にある中尊寺金色堂へご縁あってお訪ねすることができました。

こちら、とにかく広いので隅々までは辿ってはおりません。しかし、中でも一見の価値ありというくらい金色堂は1124年に上棟され、今年で900年となるようです。平安時代の建造物のようですね。金色堂では写真撮影も禁止なので、目に焼き付けることしかできませんでしたが、言葉で表現するとすれば荘厳といったところでしょうか。建物の中に嚴重にガードし保管されているので、当然ながら触ることもできません。お堂が金箔に覆われているので、金閣寺や平等院鳳凰堂などと同じように月あかりでも十分光り輝くものだったのではないのでしょうか。

有難く観覧させていただきました。

東日本物流センター東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)



世界の拠点から

- From the base in the world -



ドライブに行く時、休憩には道の駅をよく使いますよね。道の駅でも地場産品が売っていたり、アトラクションがあったり、目的化されているところもあります。

今回は2022年4月にオープンした徳島の『道の駅くるくるなると』に行ってみました。オープン時はまだコロナ禍で、なかなか行く機会がなかったのですが、ようやく行けました。文字通り鳴門市にあり、鳴門金時をモチーフにしたオブジェもあります。また、地元の数十種類のさつまいもが販売されています。名称の『くるくる』は、鳴門海峡の渦潮とお客様が来る来るを掛けているとの事。今回は人気のくるくるなると大渦食堂で30分ほど並び、一番人気の『トロとろ井』を頂きました。メニューの写真と違わぬ大盛りのマグロで非常に美味。また近くに行った際は、頂こうと思います



大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は揚輝荘(ようきそう)という史跡を紹介いたします。

この史跡は、名古屋市千種区にあり、いとう呉服店(松坂屋の前身)の初代社長・伊藤祐民が、大正から昭和初期にかけて覚王山日泰寺の隣に築いた別荘です。

敷地は北園と南園からなっていますが、今回は南園にある聴松閣を主に紹介いたします。聴松閣は、昭和12年に完成した木造一部鉄筋コンクリート造の山荘風の迎賓館で、地上3階・地下1階の造りになっています(外壁が赤色で目立ちますね…)

入口の虎の置物とケヤキ無垢一枚板の玄関扉に圧倒されながら、聴松閣の中に入ると、レトロな雰囲気ですが、床、壁、照明、暖炉などが手の込んだ作りになっています(当時の財力がうかがえますね…)。特にタイルを使っている壁の雰囲気は、インドの影響を受けた独特で綺麗な仕上がりになっています。また地下には舞踏場があり、舞台も造られています(一般庶民の感覚とはかけ離れた感じですが…)。都会の喧騒から離れたレトロな建物に足を運び、大正昭和の雰囲気を味わってみてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

毎日毎日、暑い日が続いています。皆さまいかがお過ごしでしょうか。私は夏バテ対策として、ピーマンや茄子、胡瓜にトマトなどの夏野菜を極力食べるよう心掛けています。しかし、目に見えるほどの効果を実感できない原因が、お酒であると気づいた今日この頃です。何事もほどほどが一番だと反省しております。

さて話は変わりますが、先日タチウオを釣りに博多湾の遊漁船に乗ってきました。今年は猛暑のため、今シーズンの釣りはお休みをするつもりでした。しかし、「タチウオ釣りにどうしても連れて行って欲しい」という友人のお誘いを断り切れず行くことに。当日の予想最高気温は37℃の快晴。もうこの時点で釣りに行くことを断念したかったのですが、AM2:30には友人のお迎えの車がしっかりとやってきて…で、現地を4:00に出船でした(泣)。真夏は明け方4:00でも、さすがに暑いと思ったかどうかは別として、隣の友人は意気揚々、私は意気消沈しながら釣り開始です。

一年振りのタチウオ釣り。意外に渋いアタリにも合わせる事が出来て、少しずつですが釣果を上げる最中、お隣の友人は開始1時間半でボウズ(汗)。意気揚々だった顔は何処へ?と思ったかどうかはさておき、手ぶらで帰ってもらうわけにはいきません。そこからは友人優先で釣り方を教えながら、私が釣ったタチウオは全て友人のクーラーボックスに入れて…と、てんやわんやの釣行でした。何だかんだ色々とありましたが、お持ち帰りしたタチウオは刺身と炙り、塩焼きにユッケと大変美味しく頂きました。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

インドネシアでは結婚する前にプロポーズをする行事がありました。通常、男性の家族は女性の家族の家に行って正式なプロポーズをします。まだ結婚していない男性の場合、自分でプロポーズはせず、彼の父親が行います。父親が亡くなっている場合は、父親の弟が兄が代わりに彼女の親と彼女にプロポーズします。

先日、私のいとこの男の子はお父さんが亡くなっているため、私が彼の恋人と親へプロポーズする役割に指名されました。家族メインのメンバー15人くらいが乗れる小さいバスを借り、5時間かけて彼女の親の家まで行きました。朝9時に出発し、着いたのは14時頃でした。

男性側の代表者として指名されて、どんなスピーチでプロポーズするか言葉選びにはかなり苦しみました。10分くらいのスピーチで彼女のもとに来た説明と、いとこの気持ちを伝えたいつもりです。スピーチの締めでは、今のプロポーズを受け入れられるかどうか返事をこの場で頂けるようお願いもしました。さらに、縁起物として、いくつか贈り物を持参しました。その後、彼女側の代表者のスピーチを聞き、最後は娘を呼んで、いくつか質問をしたあと娘に返事を求めています。娘は親に彼のプロポーズは受け入れて大丈夫ですという回答をしました。プロポーズの後、家族の代表者たちが話し合い、結婚式の場所、スケジュール、必要な費用などを決めました。

最後に食事をして5時間かけてバスでジャカルタに戻りました。家族の代表者という初めての役割に本当に緊張しましたが、どれもスムーズにいて安心しました。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

～ついに手ぶらでもOK～

中国で生活をしているとデジタル社会が驚きのスピードで発展していることを、日々実感させられます。支払いには百貨店などの大きな店に限らず、小さな屋台ですべてスマホです。現金での支払いは、私自身もおそらく3年以上は記憶がありません。ほかにも免許証、身分証、確定申告、ネット通販、出前サービス、タクシー予約、地下鉄、マイカーや自宅の鍵など、スマホ無しでは生活が成り立たないほどです。

一昔前は『鍵と財布と携帯電話』が外出時の3点セットでした。それが今やスマホだけという時代です。ところが技術はさらに進化し、近頃はスマホさえも不要な支払い方式が徐々に普及してきています。『手のひら決済』なるものがコンビニなどではおなじみになりました。掌紋と決済アカウントを登録すれば、店頭では手のひらをかざすだけで『ピッ!』と支払い完了です。掌紋だけでなく、血管のパターンも読み取る仕組みにより、顔認証よりも安全性が高いといわれています。ついに手ぶらでもOKという世の中になってきました。北京ではすでに地下鉄でも導入されています。

かくいう私は、なんとなくまだ抵抗があり、登録はしていないのですが、いやはや世の中、進化が速すぎますね。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

日本では相変わらずの猛暑と台風被害などが続いているとニュースで聞きますが、くれぐれもご自愛ください。

カリフォルニアでは夏本番を迎えており、毎日厳しい日差しですので日焼け止めや帽子は必需品です。気温は最高で30℃くらいですが、湿度は低く乾燥しているため木陰に入るとだいぶ涼しく感じます。夜になると気温がぐっと下がりますので体調管理は難しいです。

さて、そんな夏本番にトレイルに出かけてきました。LAやオレンジ郡は少し町を離れれば大自然ですので、ハイキングやトレイルなどのコースもたくさんあります。

今回はパサデナの近くにある『Arroyo Seco Creek』に行きました。例年だと夏には雨が少ないためクリーク(小川)も干しあがってしまっていますが、今年は年明けごろから雨が多かったおかげで水もいっぱいです。このトレイルは小川と並行して続いており、場所によっては結構な水の深さになるところもありました。浅瀬では川の中を歩き、お子様連れの方々は水遊びをして楽しんでいました。少し先にはキャンプ場があり、さらに先へ進むとダムもありますので観光スポットとしても有名です。

今回はあくまでも運動不足解消のためのトレイル挑戦でしたが、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

世界中の多くの方が、シンガポールはとても清潔だと考えています。確かに、シンガポールはどこも清潔な街だというのは正しいです。しかし、この状態をどのように管理しているのでしょうか？

シンガポール人は、教育と社会を通して、自分の周りの物事に気を配るように教えられています。もし何か間違っていることがあれば、すぐに当局に報告して修正を求めます。ある時、多くの方が通る古い橋に、誰か(誰かは分かりませんが)カエルのキャラクターを描いたことがありました。その後、当局は報告を受け、すぐに橋を清掃しました。

この街には、国中に多くの監視カメラが設置されています。しかし、市民からの報告がなければ、このような落書きは当局に知られることはありません。一般市民の人々がすぐに報告して、すぐに対処してくれたのは良いことです。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

欧州自動車工業会(ACEA)の報告によると、7月の完全電気自動車の人気は以前よりかなり落ち込み、欧州での販売台数は大幅に減少しました。ベルギー、オランダ、フランスでは、完全電気自動車の販売台数は増加しましたが、ドイツでの37%近い販売台数の激減を補うことはできませんでした。多くの政府がプラグイン車への補助金制度を段階的に廃止しているため、電気自動車の需要は世界中で減少しています。

ACEAは7月の完全電気自動車の登録台数を去年より約11%少ない10万2,705台だと発表しました。ハイブリッド車の販売台数は27万3,000台を超え、前年比で約26%増加しました。特にヨーロッパの4大自動車市場であるドイツ、フランス、スペイン、イタリアで増加しました。

ハイブリッドカーの人気が高まっている理由については説明がつきます。人々は、完全な電気自動車よりも手頃な価格で、しかも充電ステーションや急速充電ステーションへの依存度が低い種類を求めています。また、充電インフラの拡大は多くの国で非常に遅れています。

完全電気自動車に困難が取り巻いているにもかかわらず、消費者はガソリン車やディーゼル車の購入台数を減らし続けています。ガソリン車の販売台数は8.4%、ディーゼル車の販売台数は10%以上減少しました。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)